

目指す児童像

思いやりのある
よく考える
明るく元気な
進んではたらく

海道小だより

第 3 号

平成29年6月発行
宇都宮市立海道小学校
校長 影山 晃一

6月5日にプール開きを行い、気温も上がり、プールから児童の歓声が響いています。健康、安全に留意しながら、泳力の向上に努めます。

本年度の学校づくり PartⅢ

いじめゼロに向けて～思いやりのある子ども～

◇ いじめゼロ集会（6月14日）

いじめのない、思いやりのあふれる学校にするため、次の取組を行いました。

- いじめゼロリボンの着用
- いじめに関するアンケート調査の実施
- いじめに関する内容（「人権尊重」、「思いやり」など）を扱う授業の実施
- いじめゼロにつながる図書の紹介

これらのまとめとして、児童会主催により全校児童で「いじめゼロ集会」を実施しました。まず、各学級でつくった、「いじめゼロ」のスローガンを発表しました。

【1-1】あいさつ えがお ふわふわことばで なかよく たのしく いじめゼロ

【2-1】笑顔がたくさん ふわふわことばであふれるクラス

【3-1】言ってみよう！「がんばれ！」「すごいね！」やさしい気持ち

言わないよ！自分が言われて いやなこと

【3-2】いじめゼロ 言葉づかい やさしい心 3年2組

【4-1】あなたの手 やさしい思い つまってる

【5-1】心をつないで みんなで守ろう あの子の笑顔 自分の心

みんななかよし けんかなし

【6-1】いじめゼロ 自分たちで できることから はじめよう

ステージには「思いやり星人」が現れ、私たちへのメッセージを校内に置いていきました。縦割り班で、上級生は優しく丁寧に、下級生は安心と憧れをもち仲良く活動し、「きずな」のメッセージを見付けました。締めくくりは、代表委員からの「いじめゼロ宣言」です。

私は、この海道小学校が大好きです。1年生から6年生まで、みんな仲良しで、協力しあえるからです。これからも、楽しい学校でいられるように、思いやりの心をもって、過ごしたいです。

みなさん、いじめは絶対にしません。

児童主体の、思いやりに満ちた集会ができました。スローガン等は廊下に掲示し、集会での決意をもち続けます。



地域とともにある学校

◇ 土曜授業（6月3日）

学校週5日制での土曜日，児童の生活の場は家庭，地域です。児童が，家の人や地域の方と多様な体験をすることにより，興味や関心を広げたり，感謝の気持ちを育てたりします。

地域の方や関係機関の参画を得て実施した，主な授業を紹介します。



食品会社の方を講師に，家の人も加わり「ゆば」づくりをしました。



障がい福祉サービス事業所の職員と車椅子体験をしました。



学習支援ボランティアから教わり，パソコンで名刺を作りました。



学習支援ボランティアからそうじの仕方を教わり，実践しました。

◇ 地域からのプルタブを贈呈（6月10日）

本校は，城山地区にある障害者支援施設「謫謫会（あいあいかい）」との交流を10年以上続けています。活動の一環として，「おもいやり広報委員会」を中心に，プルタブを集めており，家庭・地域からも，まとまったプルタブを届けていただいています。800 kg集まると，車椅子と交換でき，これまでに2台を贈呈しました。

10日（土），謫謫会から「ほたるの集い」に招待いただきましたので，委員会の6年生児童5人と担当職員とで参加し，家庭・地域からのプルタブ95 kgを届けました。

家庭，地域ぐるみの思いやりに感謝いたします。

安全・安心な学校

◇ 避難訓練「竜巻から身を守る」（6月20日）

昨年度は，教室で授業を受けているときに訓練しました。本年度は，業間に実施し，校庭にいる児童が丈夫な建物に入る，または，遊具から離れ身を小さくするなどの訓練を加えました。教室ではカーテンを閉め，机の下で身を守るシェイクアウトの練習です。

避難行動のあと，体育館に集合し，放送を静かに聞いて自分の状況に応じた行動がとれたか，真剣に取り組めたかを振り返りました。



◇ 交通安全教室（6月26日）

市生活安心課の職員2人を講師として招き実施しました。歩くとき，自転車に乗るとき，事故にあわない，事故を起こさないようにするための注意点を，映像や実験を交えて教えてくださいました。一時停止をして自分の目で安全を確認すること，歩道を自転車で乗るときには歩行者を思いやることなどを確認しました。まとめとして，全員で，「自転車に乗るときにはヘルメットをかぶる」，「危険を予測しながら道路を使う」などを唱和しました。

